

子ども食堂の活動を拡げよう！

- 北九州市若松区は、水産物や農産物に恵まれており、学研都市ひびきの地域には毎年千人近い留学生を含む数千人の大学生や1,500名の児童を有する市内最大規模の小学校があるが、若い世代が地元の農産物や水産物に接する機会は非常に少ない。
- そこで、共食の場として子ども食堂を活用し、0歳から大学生・保護者など多世代の市民を対象に、地元食材や国産食材を使った食の提供、体験を通した学びの機会を提供して食育の実践を行った。

福岡県

北九州市



【取組の内容】

○ 子ども食堂の拡充

子ども食堂は、多数の地域住民、親子が参加する取組であり、年間を通じて多くの地元食材や国産食材が使用され、食育を行う上で学び深い共食の場である。多くの高校生の参加や多地域での活動により参加者の多様性の向上と、増加に取り組んだ。



畑で収穫した青唐辛子で作った、できたて柚子胡椒を味わう



収穫した冬野菜でピザとスープを作る。苺畑見学とみかん狩りも

○ 子ども食堂での調査とマッチング

北九州市内の子ども食堂へ食材に関するニーズ等の調査を行い、地元食材への理解と関心を深めるとともに、生産者との交流機会、農業体験活動の機会提供・マッチングを行った。(動画作成し配信)



◁ いいたけ収穫体験とお料理教室と会食

様々な種類の春野菜を収穫 ▷



△ミニシンポジウム
地元生産者の皆さんにお話を聞いて地元食材をたくさん使用したお料理教室や一緒に食べる会を開催

【取組の成果】

- 地域における共食の場を提供した。
実施回数：18回（参加人数：1,788人）
実施場所：北九州市内 子ども食堂各所
対象者：0歳から大学生・保護者までと多世代の市民
- 産直の食材による会食とともに、生産者によるお話会や、子ども食堂主催者と地域生産者とのマッチング等を行い、地元食材への理解と関心を深めることができた。
ミニシンポジウム 3回 356人
調理講習会 5回 267人
産地交流、農業体験会 8回 218人

【事業の目標】

- 共食活動参加経験者数
事業実施前 400人/年
→事業実施後 1,788人/年
- 産地や生産者を意識して農林水産物、食品を選ぶ者の割合
事業実施前 74.8%
→事業実施後 82.0%

取組の成果

